



はな街道笑顔で育てる人とまち

オリンピックビクトリーブーケと杉井氏の受賞



オリンピックがいよいよ開催され、皆様テレビで一喜一憂されていることと存じます。
はな街道園芸顧問の杉井氏の嬉しいニュースを2つご紹介いたします。



オリンピックのブーケ



パラリンピックのブーケ

オリンピックビクトリーブーケについて

杉井氏が2021年7月16日NHK総合「あさイチ」のグリーンスタイル応援気分アップ！ミニブーケを作ろうのコーナーにて、今回のオリンピックの表彰式で選手に贈られる花束・ビクトリーブーケの説明をされました。
Tokyo 2020（東京五輪）のメダリストに授与される副賞「ビクトリーブーケ」は明るい色を基調とし、東京2020オリンピックマスコット「ミライトワ」とパラリンピックマスコット「ソメイティ」のぬいぐるみが、それぞれに取り付けられています。どの方向からも見られ、ボランティアの方が同じように作ることができるようデザインされています。
ブーケには主に東日本大震災で被災した東北3県の花が使用されていて、震災復興や支援への感謝を世界の人に届けるのが狙いで復興の進展を表すシンボルになっています。福島県産トルコギキョウ、宮城県産ヒマワリ、岩手県産リンドウ、福島県産ナルコラン、東京都産ハランを。パラリンピックのブーケには、マスコットの「ソメイティ」と同色のピンクのバラに変わります。このブーケにおいて、パラ輪はアスリートの存在感を表現し、周りにあるトルコギキョウやリンドウは、そばで選手をサポートしてきた方々、応援してくれる世界中の人々をイメージして作られています。

- トルコギキョウは福島県が県ぐるみで生産に取り組んでいる花です。震災による影響で農作物の出荷が減った当時、特定非営利活動法人（NPO）を立ち上げ、花を栽培することで復興への希望を見い出しました。
- 宮城県では、東日本大震災で子どもを亡くした親たちが、子どもたちが避難するために目指した丘にヒマワリを植えました。そしてその丘には毎年ヒマワリが咲くようになったそうです。絵本にもなったこの話ですが、宮城県のヒマワリはそうした被災者たちの思いも込められている花と言えます。
- リンドウは岩手県を代表する花です。日本で出荷されているリンドウの半分以上が岩手県産のもの。東京2020エンブレムと同色で、藍色の美しい花を咲かせます。



趣味の園芸 8月号
(テキスト企画・放送なし)

上海「中国花卉博覧会」でガーデン展示部門最優秀設計賞を受賞

杉井氏が上海にて「中国花卉博覧会」でガーデン展示部門最優秀設計賞を受賞されました。
第10回中国花博覧会は、2021年5月21日から7月2日まで上海のチョンミン島で開催されました。

杉井氏のコメントより：

● 出展依頼の経緯

上海で開催される「中国花卉博覧会」のガーデン展示のエリアを、海外デザイナーを招待して埋めたいとの立案がありました。招待枠は世界から10人で、色々な審査があって、幸い選ばれました。

● 受賞まで

各国のデザイナーの作品に紛れ、日本人の感性を表現するにはどうしたら良いのか？安易に日本庭園を作るようなことだけは避けたい。などの経緯があり、中国側からの注文では「見たことがない、驚きのある庭」と言われ、考えた結果、「植物が主役の庭」テーマ名「虹色の庭」を提案しました。開催期間とショウの華やかさを考えると、日本原産品種の植物は地味ですが「日本原産品種」の植物にこだわりました。

日本庭園の空間使いを活用し、日本原産品種を使った、モダンな雰囲気のある庭を提案しました。

構造物が主役にならず、植物にこだわり、植物で構成したことが、最優秀設計賞を受賞できた事とおもっています。

庭園の水辺や空を表現するために、鏡を使いました。床材として使ったり、壁面として使うなど、新しい試みにチャレンジできたのも良い経験でした。

URL: <https://mp.weixin.qq.com/s/B0ne4wz3ckVjUjgns-UBmg>



テーマ「虹色の庭」*Designed by SH-HIORI SUGII (はななくみ)

